

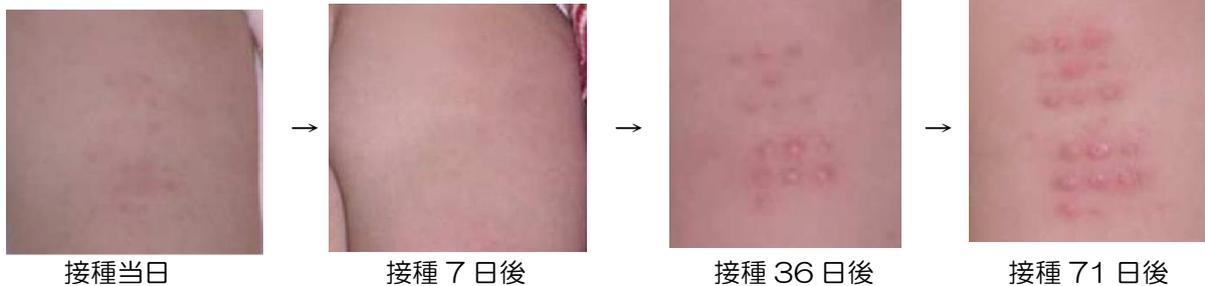
## BCG を接種した方へ

BCG ワクチンは結核予防のワクチンです。

接種した後はお風呂に入ってもかまいませんが、接種したところをこすったり、ひっかいたりしないようにしましょう。

通常では接種後 10 日くらいから赤くなり 1 か月くらいが一番強く、その後かさぶたができて 3 か月くらいには小さなあとが残るくらいに落ち着いていきます。

このような変化については、包帯やバンソウコウを貼ったりせず、ふつうに清潔を保ってください。



結核に感染している赤ちゃんに BCG を接種すると、通常よりも早く、強く皮膚の反応がおこることがあります。1 週間以内に赤くなった、化膿した等の反応があったら、まず BCG を接種した医療機関に相談してください。

グレード 3



(針痕が固い)

グレード 4



(一部に白い膿がある)

グレード 5・6



(かさぶたや膿が出ている)

(画像：特別区 BCG 接種マニュアルより)

医療機関を受診する際は以下の対応をお願いします。

- ①母子手帳を持参し、BCGのページを提示してください。
- ②接種したところの変化を確認します。  
いつから？どんな？経過は？
- ③家族や親せきなど、生後一緒に過ごした人々の健康状態をお聞きします。  
結核の診断を受けたことがある？咳が続く？ずっと風邪気味？
- ④接種したところを撮影した画像を、医師に見せてください。  
(接種後1日1回接種部位の写真を撮っておくと相談がしやすいです)

その後の基本的な流れは、結核菌の感染を調べるための簡単な検査（ツベルクリン検査）を行います。

皮下に注射し、2日後にその部位が赤くなるかどうか（アレルギーのように皮膚が赤くなる反応）を見ますので、1日あけて2回受診する必要があります。

この検査を受けるのは、可能であればBCG接種後2週間以内が望ましいです。

#### 【参考】

\*ツベルクリン反応検査は、より専門的な機関を紹介して実施する予定です。

\*仮に結核菌の感染が疑わしいと診断された場合でも、お子さんから周りの人々に結核菌を移す可能性はありません。ただし、周りの人々の中で、咳が続いたり風邪が治らないと思っている人がいないか、改めて確認が必要となります。（その方が先に結核に感染していて、お子さんに移ってしまっていた可能性があります）